



オクソン 倶楽部



2020年 秋号

新型コロナウイルスの災いの日々。未曾有の危機でのコロナ自粛の中、書棚の奥から三十年振りに、「坂村真民詩集」を手にとっていました。

鳥は飛ばねばならぬ

人は生きねばならぬ

怒濤の海を

飛びゆく鳥のように

混沌の世を生きねばならぬ

鳥は本能的に

暗黒を突破すれば

光明の島に着くことを知っている

そのように人も

一寸先は闇ではなく

光であることを 知らねばならぬ

不安と混沌のこの時代に生き抜くための道標の詩人として仏教詩人・坂村真民先生をご紹介します。

オクソン季刊誌一面の寄稿を賜る為に、日本の癒しの詩人・坂村真民先生を訪ねたのは2009年の初夏でした。愛媛県砥部町の開花亭に於いて、月一回日曜日の朝に開催される真民先生の法話の会に参加しました。その後、真民先生は「タンポポ堂」にご案内下さり、自ら育てて収穫し漬込まれた梅ジュースをご馳走して下さいました。

真民先生が一番好きな花「朴の花」、その朴葉に書かれた直筆「花ひらく」(下の写真)をおみやげに頂きました。この折りの原稿はオクソン倶楽部バックナンバー2021年初春号で閲覧頂けます。

真民先生の写真は東京・皇居三の丸公園にある朴の木に会いに行かれた折の九十歳のもので、愛媛県の坂村真民記念館より、お借りしました。

念ずれば花ひらく

坂村真民は八歳の時に、小学校長をしていた父が四十才で急逝。三十六才の母と五人の幼子が残され、そこから一家の生活は一変し、五人の幼子を育てるために母は懸命に働きました。愚痴を言う代わりに、いつも母が唱えていた言葉が「念ずれば花ひらく」。この言葉が真民の詩魂に火をつけ、詩道一筋の人生を歩む原点となりました。(敬称略)



生も一度きり
死も一度きり
一度きりの人生だから
一年草のように
独自の花を咲かせよう

「自分を作るために詩を書く」「そして人びとの心に光を灯す」苦しみから立ち上がる詩を書き続けました。孤独の一本道。しかし、コツコツと希望を持って歩いていくと、前から光が差し、後ろから差しのべられる手があったそうです。

一遍上人を敬愛し、毎日午前零時に起床して近所の重信川のほとりで地球に祈りを捧げるのを日課としていた。愛媛県砥部町の自宅を「タンポポ堂」と名付け、晩年まで創作活動を継続。作品はわかりやすく、弱者に寄り添い癒しと勇気を与えるものとして多くの人々の支持を得ている。

さかむら しんみん 坂村 真民

プロフィール

明治42年熊本県生まれ。
昭和6年神宮皇學館(現・皇學館大學)卒業。
22歳熊本で小学校教員。25歳で朝鮮に渡ると現地で教員を続け2回目の召集中に終戦を迎える。
21年から愛媛県で高校教師を務め、65歳で退職。
37年、53歳で月刊個人詩誌『詩国』を創刊し、平成16年95歳まで通算500号を発行する。
平成18年97歳で永眠。仏教伝道文化賞、愛媛県功労賞、熊本県近代文化功労者賞受賞。



念ずれば
花ひらく
苦しいとき
母がいつも口にしていた
このことばを
わたしもいつのころからか
となえるようになった
そうしてそのたび
わたしの花がふしぎと
ひとつひとつ
ひらいていった

2020年、コロナ禍による不安と混迷の今・・・

新食材を訪ねる旅や音楽会やワイン会等もご案内は出来ませんでした、お客様よりサロンの寄せ書き帳に頂いた、心に響く出会いと感動の言葉で季刊誌ができました。

Q-zaemon Ave35 は(有)オクソンの元住所、大阪市中央区久衛門町 35 番地に由来します。

Q-zaemon Ave 35

百歳まで自分の力で
歩ける「ひざ」のつくり方

戸田整形外科
戸田 佳孝

食文化は

人間と人間のリアルな交流、
出会い、喜び、幸せを
共有する貴重な空間。
四季の変化を反映した
質の高い食材、

地域の伝統的な生活文化を

反映した日本の誇れる文化。
デリバリー、弁当は

あくまで非常時、補完的な手段。
大阪は「食の都」

今こそ守ろう大阪の食文化。

公益財団法人 大阪観光局
溝畑 宏

寿限無

与代目 桂 春團治

根性はいらぬ
根気が必要

伸和サービス(株)
高石 瞳史

笑門来福

(株)フルタイムシステム
原 周平

起こることに
すべて意味がある

意味のないことは
起こらない

瓜生・糸賀法律事務所
長野 聡

心静楽長年

五十周年を楽しみにしており候
茶道裏千家教授
東堤 宗明

お天道様は見ている

泉北鉄道
金森 哲郎

出る杭打たるるが
飛び抜けた杭は
誰にもうてぬ

サノヤス造船(株)
栗山 昌大

一度しかない人生

全力で生きる！
最高の人生
今を生きる！

(株)ベル
奥 斗志雄

26歳の時は

連れて来てもらった僕が
今では人々をご招待
できるようにになりました

51歳の夏の終わり

加藤クリニック
加藤 隆行

「継続は力なり」

これからも美味しい料理を
提供してください

武森

大変な時代ですが
もう少しのガマンです
頑張りましょう

(株)石本建築事務所
丸山 利幸

最高の人というのは
この世の生を

精いっぱい、
力いっぱい、
命いっぱい、
生きた人

(株)そばよし

武田 美穂

新型コロナウィルス感染拡大で
外出自粛要請、数ヶ月の巣籠もり
(籠の鳥)生活を強いられ感染脅威で
生活が一変しました。

人と人との接触を控える等、
此迄の経験無い生活が続く

心身の健康阻害懸念しました。

ソーシャルディスタンス三密回避の
「オクソン」さんへ

八十七歳爺は籠をぶち壊し飛んで行き、
ステキで馬力が付き、

ケーキタイムで心癒やされ

「オクソン山口オーナー」
サンキューです。

指揮者

木戸 昭信

「美味しいステーキ」

「ピアノ演奏と豪華なケーキタイム」
重厚な店内でのくつろぎ

マダムをはじめスタッフの
素晴らしい接客で癒されます。

ここオクソンには
いつもと変わらない別世界

ステキな「ひととき」を有難う
大阪浪速ライオンズクラブ

中川 恂

結婚三周年記念日に
オクソンで食事をしました

美味しい料理と食後のデザート、
サイフォンコーヒーに感動

又、必ず家族で来たいお店です

嘉本 将太

十年振りに来ました
変わらない美味しいお肉ごちそうさま。

親友のお誕生日を
ロイヤルコールドのティカップと
季節の梨のケーキで

すてきな時間を過ごせました。

かい歯科クリニック

金子 久美子

夢はにげない
にげるのは いつも自分

積和建设関西(株)
鹿庭 政美

人の為、世の為、
笑顔をもって
明るく楽しく磁力ある目標をもって
「和」に感謝する
すばらしい人生を送ろう

(株)三橋商会
三橋 一夫

人との出会いが
モットーです

元・大日本住友製菓(株)
宮武 健次郎

家族みんなで楽しく！
新しい門出のディナーをオクソンで。
明後日、日本を出発。
カンボジア・シムリアアップで一旗！

元・大日本住友製菓(株)
杉本 尚也

可能性を信じる

学校法人グロービス経営大学院
村尾 佳子

オクソンのケーキが
大好きです

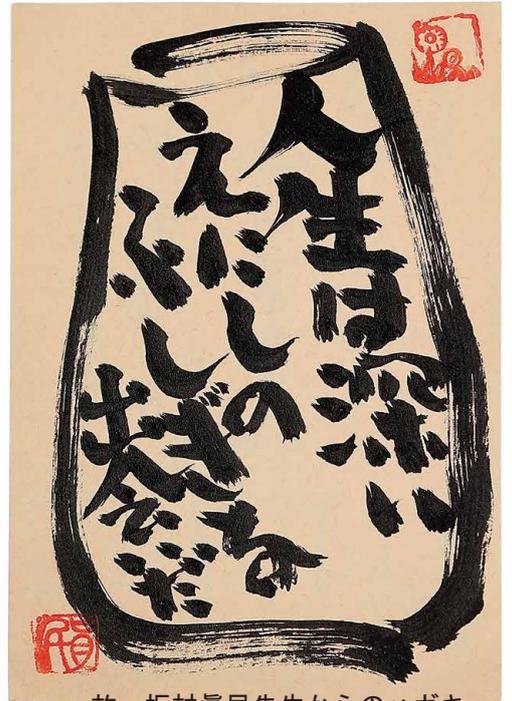
大阪府立大学
植田 秀樹

一期一会

この出逢いに感謝！
サンエイ(株)
西岡 利明

敬天愛人

クス・クリエイティブ スタジオ
鹿庭 政美



故・坂村眞民先生からのハガキ

十月一日、
オクソンさんが四十六周年を迎えられた。
おめでとうございます。
山口さんはおいしい料理、健康的な料理に
我を忘れて努力を積み重ねてこられた。
そして、楽しい音楽会を開催し、
親として全力で娘さんに愛情を注がれた。
一生懸命生きてきた人生には
たくさんのお苦しき、悲しきがあり、
無難なく皆さんの恵みもあつただろう。
私は単なる客であるが
年齢が近く、限界まで頑張るとい
山口さんを見てみると胸に迫るものがある。

中村診療所
中村 純友

愛する娘・麻里へ
今日はサンキュー
いつでも君の健康と幸福を祈っています
父の日の為に

江坂

知人から送付されてきたトリヴィア・・・
この様な混迷の時期なので何気ない問いに
ちよつと考えさせられました。

- あなた様なら
- 無人島に食事と水のほかに
- 何か一つ持って行けるとしたら何を持っていく？
- カラオケで歌うなら一曲は？
- 今すぐ、どこにでも行けるなら、どこに行く？
- 朝起きた時に、真っ先に眼に入るのは？

私が大切にしている言葉をご紹介します。

(新約聖書・ローマ人への手紙より)
患難は忍耐を生み出し
忍耐は練られた品性を生み出し
練られた品性は希望を生み出す。
そして希望は失望に終わることはない。

(有)オクソン
山口 富久子

学生時代
音楽を専攻していた私にとって、
オクソンの美味しい料理と
素晴らしいサロンコンサートは
癒しの一時、
娘はオクソンの
ミートパイが大好きです。
このコロナ禍、
サロンコンサートを楽しむ事が
出来ない状態は非常に残念！
オクソンで娘と共に
早くていいサロンコンサート
聴ける日がきますように！
ジュエリーショップ Diva
雲林院 貴志子

編集後記 2020年

GO TO EAT キャンペーン をご利用下さい。



- ステーキ&ワイン オクソン
 - なにわ懐石・しゃぶしゃぶ久壺庵
- 加盟店として登録しています。



オクソンサロンで開催された2020年2月24日～29日の新春コンサートは世界で活躍されるクラシックサクソ奏者・Miha ROGINA (ミーハロギーナ)とピアノ・李早恵(Sae LEE)をスロベニアよりお迎えして演目のサクソフォン・ソナタOp. 19、Gガーシュインのラプソディインブルー等は超絶技巧で感動のデュオでした。最終日、彼らは当店でステーキを召し上がりながら「帰国後はスロベニアではスケジュールが詰まっているが、日本から帰国だと2週間の隔離生活が待っているよ」との友人からの国際電話を受けた話を聞きましたが・・・

まさか、日本でも自粛生活に入るとは予想外でした。政府より緊急事態措置で4月9日～5月21日まで自粛要請。再開しましたが大阪市南地区営業閉鎖のあおりをうけ又、8月3日～20日を休業。オクソンではこの休業期間を前向きに利用し創業以来46年を経たオクソンビルのファサード、看板や玄関まわりを改修させて頂きました。

テレビを見ているとアラン・デュカス氏（ミシュランから異なる3ヶ国で三ツ星を獲得した世界初のシェフ）もコロナ対策をなさり「レストランでは重々しい仕切りでなく、ファンタジーな空間を演出したい。」と語っておられました。当店の対策も単なる防止機能だけでなく、より楽しい食事の演出になればと考えています。



左写真のテーブル上には飛沫拡散防止用に空間計画室・主宰の元木昭治氏にアクリル板衝立てを依頼して作りました。ペルシャから伝わり、日本工芸の代表技術の一つ象嵌の技法を用いて現代の素材の透明アクリル素材の特性を生かし、板の中を色彩が移り変わる美しい不思議を映した作品です。計算された最上部のカットのウェーブから黄色とオレンジ色が放たれています。

「貴女の膝関節は終末期です」と以前から告知され、昼間は5時間位は街の散歩も出来ますのに夜間は足が痛み、毎晩こむらがえりを発症していましたので、このコロナ禍での店の自粛期に入院して右足だけ手術しました。先端手術で30年以上は自分の足で立てるそうで、30年後もオクソンでサービス係を務めたいと願っています。お客様には笑顔でご帰宅いただける様に、感染予防の観点から店内での3密解消を工夫させて頂き、安心・安全と美酒・佳肴を取り揃えて、おもてなしをさせて頂く所存でございます。 店主 山口

